

第85回日本医史学会総会演題目次

特別講演

吉田長淑とその学統……………

E・ベルツの「憑依とその類似状態について」……………

会長講演

いわゆるターヘル・アナトミアの脚註について……………

一般口演

1、佐賀藩の『医師免札姓名録』について(その二)……………

2、幕末における医学研修……………

3、村上田長について……………

4、本邦に全身麻醉を伝えた高嶺徳明の事蹟……………

5、山脇東洋およびその一門の解剖の地……………

6、『解屍編』刊行以前の河口信任の解剖……………

7、伏屋素秋の『実験記録ノート』について……………

8、金沢における明治中期の剖検記録——第四高等学校医学部——……………

9、一八六二年(文久二年)麻疹の大流行と長州藩……………

10、くすりの歴史——その使用価値の考察……………

11、カスガイ膏の伝承について——アンブロアズ・パレとわが国の外科……………

12、日葡辞書から見た安土桃山時代の医学(四) 生理並びに病理現象……………

13、中条帯刀と中条流産科……………

14、ボードインの持帰った日本の美術品六〇〇点と日本の写真(一八六二—七〇)……………

津田進三……………(1)

安井 広……………(4)

酒井 恒……………(12)

酒井シヅ……………(20)

深瀬泰旦……………(21)

川 島 眞人……………(24)

松 木 明 知……………(26)

宗 田 一……………(28)

川 島 恂 二……………(30)

三 宅 宏 司……………(32)

寺 畑 喜 朔……………(33)

田 中 助 一……………(35)

安 江 政 一……………(38)

大 村 敏 郎……………(40)

亀 節 子……………(42)

山 形 敏 一……………(45)

一三〇枚……………石田純郎、H・ボイケルス、H・E・ヘンケス……………(46)

- 15、宮城県蔵王町平沢「だるま堂」について……………玉手英典……………(48)
- 16、齒の名称について……………本間邦則……………(49)
- 17、ドイツ医学採用(明治三年)前後の別な事情(三)……………原口忠男……………(50)
- 18、私立医学校済生学舎のこと……………神谷昭典……………(52)
- 19、明治時代の公立医学校廃止の顛末(その三)……………西川瀨八……………(55)
- 20、昭和十年改正の算術教育変更方針とその後の初等・中等・数学・理科教育の
改革ならびに大学・理科教育改正との関連性について……………柴田幸雄……………(57)
- 21、日本産業の黄燐中毒……………三浦豊彦……………(60)
- 22、佐久間貞一の「八時間労働」……………森博……………(62)
- 23、初期の植民地医療における現役軍医の役割——殊に台湾、韓国において——……………佐久間温……………(64)
- 24、救急法に関する二、三の成書……………谷津三雄・鈴木勝……………(67)
- 25、日本医学放射線技術史における梅谷友吉小伝……………今市正義……………(69)
- 26、新島襄とドイツ……………守屋正……………(69)
- 27、Liesegangの組織学への貢献……………中村三雄……………(71)
- 28、藤野殿九郎の学歴……………泉彪之助……………(72)
- 29、愛知医学校卒業生藤野殿九郎と教科書……………藤野恒三郎……………(74)
- 30、近代日本における診療録の歴史……………長門谷洋治……………(75)
- 31、江戸医学館の考試弁書『癩癩狂弁』について——当時の精神病学説をみる——……………岡田靖雄……………(77)
- 32、近世、因伯における狐つき、狐持ちの俗信……………森納……………(80)
- 33、Aecidia——メラノコリーの中世版……………大橋博司……………(82)
- 34、資料を通して見た平安時代の医学の社会的側面について……………M A C E・美枝子……………(83)
- 35、『多聞院日記』に現われる伝染病の検討……………中村昭……………(86)
- 36、縄文土器・土偶の産科学的考察……………石原力……………(88)
- 37、江戸期の子育ての書に現われた乳幼児養達観……………小嶋秀夫……………(90)

38、	石坂宗哲の医学について……………	石原武……………	(93)
39、	『医心方』に見える鑑真方について……………	三井駿一……………	(95)
40、	『医心方』の伝写について……………	杉立義一……………	(97)
41、	中国医学と道教(Ⅳ 善書について)……………	吉元昭治……………	(99)
42、	『外台秘要方』による古医籍輯佚の検討……………	小曾戸洋……………	(101)
43、	『金匱要略』の古版本二種についての新知見……………	真柳誠・小曾戸洋……………	(104)
44、	中国伝統医学修得学生の漢語素養について(最終報)……………	小杉順一……………	(106)
45、	中国における「医は仁術」の思想と史的変遷……………	山本徳子……………	(109)
46、	素問靈樞に於ける氣の研究……………	山本誠一……………	(110)
47、	安土桃山時代に於ける吉田家と曲直瀬家の関係について……………	安井広迪……………	(113)
48、	名古屋支医の医学思想と『医方問余』について……………	花輪壽彦……………	(115)
49、	内藤希哲の医説……………	丸山敏秋……………	(117)
50、	津田玄仙の理想とする漢方医学教育……………	平馬直樹……………	(120)
51、	水野皓山と山本讀書室……………	遠藤正治……………	(122)
52、	江戸時代後期の小児科学……………	安達原曄子……………	(124)